Trung tâm hỗ trợ người ngoại quốc định cư tại Kobe (ＫＦＣ)　特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援中心　특정비영리활동법인 코베 정주외국인 지원센터
Kobe Foreigners Friendship Center(ＫＦＣ)　Centro de Assistência aos Estrangeiros Residentes em Kobe (ＫＦＣ)　Centro de Apoyo a los Extranjeros（KFC）

NEWS

2021．9．17

.164

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502
Phone.078-612-2402／FAX 078-612-3052／E-Mail kfc@social-b.net
デイサービスセンターハナの会　Phone＆FAX 078-612-2408
グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ　Phone.078-798-5475・4／FAX 078-798-5476
ハナ介護サービス Phone. (居宅)078-646-8671（訪問）078-646-8670／FAX 078-612-3052
ふたば国際プラザ Phone.078-747-0280／FAX 078-747-0290

◆ランチ付き夏休み学習教室

夏休みのうち 10 日間、小学生を対象として「追いつけ、伸ばせ！外国にルーツをもつ子どもの夏休み集中教科・日本語教室」をふたば国際プラザで開催しました。比較的渡日間もない子ども中心に 13 名が参加してくれました。

これまで夏休みになると日本語に触れる機会が減り、せっかく習得した日本語を忘れてしまう子どもがいたり、生活が不規則になってしまう子どもがいたりしたため、せっかく習得した日本語を忘れないように、またできるだけ学習を伸ばせるように学習機会を増やしたいという思いから実施することにしました。

また仕事に行っている保護者の負担を少しでも減らせたらと、ランチ付きにしました。ランチは、保護者やＫＦＣの卒業生などのご協力を得て準備しました。ムスリムの子どもたちがいたため、「豚肉は使わないで」とフィリピン人の保護者にお願いすると、「フィリピン料理は豚肉料理が多いから、フィリピン料理以外にするね」と子どもたちが食べられる料理を工夫して色々と作ってくれました。

食事中は、黙食、距離をとる、換気、お箸やコップなど直接口をつけるものは極力使い捨てにするなど、コロナの感染予防にかなり気をつかいました。始まる前は、黙食できるか不安でしたが、学校の給食ですっかり黙食に慣れている子どもたちは非常に静かに食事をとることが出来ていました。ただ、仕方ないとはいえ、食事中に食べ物の感想を聞くことや、何気ない話ができなかったのは非常に寂しかったです。またこの１年以上の間、マスクをずっとつけていたため、マスクの下の顔を初めて知る機会になったりして、非日常を改めて感じました。ミャンマー、マレーシア、タイ、洋食、和食などの様々な料理を作ってもらい、大人でも多いなあと思う量の料理を中・高学年の子どもたちはほとんど食べきっていました。支援者の方からは「この食事がこの夏一番のお楽しみです」という声もありました。

８月６日には、聴覚障碍児童デイサービス「ふくろうっこ」さんとの交流も行いました。ふくろうっこさんに通うベトナムルーツの小学生に手話を教えてもらい、ホワイトボードを活用した自己紹介の後、グループに分かれてジェスチャーゲームや話合いを行い、楽しく交流できました。最初は日本語がまだ十分でないＫＦＣの子どもと聴覚障碍のある子どもの交流がうまくいくのだろうかと不

安でしたが、ふくろうっこのスタッフの方が交流内容を考えてくださり、非常にいい時間を過ごすことができました。

全体の運営についての反省点としては、水・木曜日は通常の学習支援が夕方からあり、それ以外はふたば国際プラザで朝から週２―３日学習、途中お盆休みが入ったりしたため学習日や場所について混乱した子どもがいたことです。次回は、カレンダーをしっかり作って渡して、混乱のないように努めたいと思います。　（志岐 良子）

ある日のメニュー
「ミャンマースタイルやきそば、キャベツのスープ、サモサ、サラダ、食パンを使ったプリン」

※本事業は芝田カナエ・和江基金 児童福祉事業助成をいただいて実施しました。

KFC 日本語プロジェクト

◆日本語学習支援をして

私は今、韓国から来られた方の日本語学習をお手伝いしています。その方は初めからある程度日本語が話せ、さらに大変勉強熱心な方です。私は３月から日本語ボランティアをしていますが、どのようにすればよりわかりやすく、楽しく学習していただけるか模索する日々です。

支援していく上で最も難しいと感じていることは、学習者さんにいかに自信を持ってもらうか、ということです。私からするとその方は日常生活には全く問題ない程度の日本語能力をお持ちだと思うのですが、ご本人は自信がなく、日本人と話すのは怖い、とおっしゃいます。私自身もイギリスで２年過ごした経験がありますが、たしかにネイティブスピーカーと話す時は緊張もするし、いつまでたっても自分の英語に自信が持てなかったので、異国で暮らす学習者さんの気持ちは痛いほどよくわかります。

しかし１つ言えることは、相手の言っていることがわかり、自分の言いたいことが相手に伝わるようになると、その国での生活がとても楽しくなってくるということです。さらに言えば、相手が友達なら、たとえ完璧ではなくても話しやすいということです。

今はコロナの影響で、多くの学習者さんが新しい友達を作る機会を持ちにくい状況です。それならばせめて、支援者と学習者が友達同士のように楽しく気兼ねなく話せるような関係を作り、日本での生活が少しでも楽しいものになればと考えています。私自身は毎週楽しんでいるのですが、さて学習者さんの反応はいかに！？

（日本語ボランティア　宇野 真由美）

ふたば国際プラザ

◆2021 年度夏季 多文化ひろめ隊養成講座を行いました

ふたば国際プラザで、8 月 21 日に多文化ひろめ隊養成講座を行いました。「多文化ひろめ隊」は、神戸市内の児童館に行って、講師として自分のルーツや文化紹介を行う事業です。多くの児童館から応募を頂く人気事業であり、子どもたちが多文化への理解を深めたり関心を持ったりできるよう行っています。今は「児童館に来ている子どもの中に外国にルーツを持つ子どもがいるので、その子と同じ国・地域の講師を派遣して欲しい」、或いは「あえて別の国・地域の講師を派遣して欲しい」「低学年が中心なので簡単な内容でお願いします」などいろいろな希望が児童館から寄せられることもあり、児童館とコミュニケーションを取りながら相互理解に繋がるよう取り組んでいます。

今回の研修会は 9 月に派遣を行うためのもので、留学生や働いている人、子育てしている人など合わせて 19 名(8 か国・地域)に参加して頂きました。児童館で子どもたちに自己紹介やルーツ、文化紹介をするときに注意するべきポイント(低学年の子どもに合わせた簡単な内容にしたり、簡単な言葉づかいにしたりするなど)を説明したあと、昨年度に文化紹介 DVD の作成に携わった人の動画を手本として見て、感想を聞いて、それを参考にして自分の発表内容を考えてワークシートに記入するということを行いました。

養成講座のあと、派遣予定の 11 児童館の担当の方々との打ち合わせ会を行いました。コロナ対策として、ふたば学舎の別室を借りて 2 フロアに分けて行いました。打ち合わせでは派遣日、児童館の場所、行き方、互いの連絡先の交換、プロジェクター設備の有無、謝金の受け取りについてなど大切な確認事項について説明を行いました。人同士が接触するレクリエーションを行わないなど、今回特に注意が必要な部分の説明も行いました。

昨年度は派遣を中止し、DVD に文化紹介の様子を収録して児童館に送る形を取ったところ、児童館から「やはり実際に会って文化紹介を行ってほしい」というアンケートの回答が寄せられたことを踏まえ、今回は派遣の実施を進めています。原稿執筆時点(9 月 2 日)で既に 1 館への派遣が終了し、「児童が興味を持って話を聞いていた」という声が届いています。今回も中止と隣り合わせであり、結果的に中止とした派遣もあります。難しい状況ですが、最新状況を見ながら取り組んでいきます。　　(大石 貴之)

◆第一回「地域の多様性の歴史を学び理解を深めるセミナー」を開催しました

7 月 18 日に神戸コリア教育文化センターの金信鏞(キムシニョン)さんを講師にお招きし、セミナー「長田と在日コリアンの歴史～写真をふまえて～」を ZOOM で行いました。このセミナーは、地域でのボランティア活動に関心のある学生や社会人が地域の多様性の歴史を学び、権利の保障や多様性の尊重という視点をもち、相手に歩み寄る姿勢をもつきっかけとして欲しいということで企画しました。

第一回は 20 名の参加者に対し、金信鏞さんに在日コリアンと長田にまつわる歴史を、長年かけて収集された数々の写真とご自身の経験をもとにお話し頂きました。かつての街の様子や家族写真、結婚式の写真など、一枚一枚の写真に物語があり、大変勉強になるセミナーとなりました。参加者からは「写真が多く当時のお話も交えて説明され、わかりやすかった」「未だに外国ルーツの方々の当たり前の権利が保障されていないことに怒りを感じる」といった感想が寄せられました。

このセミナーの概要を記した掲示物と、在日コリアンの歴史に関する関連書籍をふたば国際プラザで閲覧することができます。ご関心のある方はお越しください。

「地域の多様性の歴史を学び理解を深めるセミナー」は全 5 回を予定しており、第二回セミナー「ベトナム人と長田の歴史と今」が 9 月 20 日に行われます。多くの人に参加頂き、日ごろの活動に活かしてもらいたいです。　（大石　貴之）

ＫＦＣハナの会

◆夏まつり

アンニョンハシムニカ。４月から週１回の勤務で仲間入りをしました田中です。よろしくお願いいたします。

ハナの会では 7 月 27,28,29 日の 3 日間にわたり、夏まつりを開催しました。

理事長の挨拶に続いて、志村けんさんの「ヒゲダンス」で職員が登場！つけヒゲと赤いほっぺ、白いシャツに腹巻きの愉快な出で立ちで、みんなで陽気に「ウンジャラゲ」を踊り、職員の見事な（！？）バケツ芸でおおいに盛り上がりました。そのあとは「たたいてかぶってじゃんけんぽんゲーム」、三人チーム対抗での「コップ積みゲーム」を楽しみました。

しめくくりに夏の風物詩のスイカ割り。職員の介助のもと、ある人は目隠しをしてぐるりと回って、ある人は椅子に座ったままで、リハビリ棒をスイカにふりおろしたのでした。うまくいってもいかなくても、大きな拍手と笑い声が響きました。きっと各々の夏の思い出がよみがえったことでしょう。身体を動かしたあとにいただいたスイカはとっても美味しかったです。（※感染対策に配慮して切り分け、食事中はアクリル板でソーシャルディスタンスを確保しています。）

コロナ禍であっても、人との触れ合いはかけがえのないものだと思います。いっぱい笑って、いっぱいお話しして、いっぱい食べて、免疫力をあげましょう！笑うことは元気の源です。これからも皆様に安心してご利用いただけるよう、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

（看護師　田中 順子）

グループホーム ハナ
小規模多機能型居宅介護 ハナ

◆グループホームハナ夏祭り

毎日ジメジメ蒸し蒸しとしたお天気が続いており、少し夏バテが始まりそうな昨今ですが、グループホーム２・３階では、暑気払いを兼ねて７月 15 日に夏祭りを開催しました。

コロナ禍のため、なかなか皆で集まる事ができない日が長引いておりましたが、入居者様、スタッフも２回目のワクチン接種も無事終了しましたので、この日だけは特別にフロアで集合写真を撮ったり、ゲームをしたりと楽しく一日を過ごしました。

夏祭りらしく浴衣やチョゴリでちょっぴりオシャレもしてみました。いくつになっても女子はオシャレが大好きです。色とりどりの浴衣に大はしゃぎです。昼食も皆大好きな焼きそばやたこ焼き、唐揚げといった屋台風メニューです。

３時のおやつには綿あめ、チョコバナナ、かき氷と夏にぴったりなスイーツを楽しみました。

スタッフも頑張って汗をかきかき、焼きそばやたこ焼きを焼き続け、綿あめを割り箸に巻き続け、ひたすら氷を削り続けておりました。そのかいあってか、おかわりをされる方もいらっしゃいました。皆さんお腹いっぱいになられました！

おやつの後はお楽しみ会です。ゲームで勝った人には素敵なプレゼントが当たるチャンスです。（負けた人にももれなくプレゼントがありましたのでご心配なく）今年のプレゼントは実用的なハンディファンやタオルでした。

ここ１年以上コロナのため、ご家族との面会もできず、お部屋で過ごしていただく時間も多かったので、少しでも楽しんで頂けたら良いなと企画させていただいた夏祭りでした。

スタッフは入居者様の笑顔を見ることができて、楽しんで頂けたのではないかと思っております。

来年はマスクやソーシャルディスタンスのない夏祭りになったら良いなと思っています。　（利 利香）

◆今後の予定

■ふたば国際プラザ

〇ヒューマン・シネマ上映会
9月24日(金)18：00～20:00
『エール！　(La famille Belier)』
(2014・フランス　106分　字幕)

〇みんなではなしをする会
毎週土曜日 18：00-19：00

〇中国語教室　毎週金曜日 18：30-20：30

〇English Time 毎週土曜日 16：30-17：30

〇生活ガイダンス＜9月＞「警報と注意報」
15日（水）、16日（木）、18日（土）、21日（火）

〇日本語ボランティア基礎講座＜全8回＞
9月12日～10月31日毎週日曜日 13：30～15:30

■地域の多様性の歴史を学び理解を深めるセミナー
第２回「ベトナム人と長田の歴史と今」
9月20日（月・祝）14:00-16:00

■「多文化共生」を考える研修会 2021
11月4日（木）、7日（日）、11（木）、14（日）